

うに郷通信

No.174
令和6年(2024)1月

発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

年頭のご挨拶

会長 稲木善英



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

宇仁郷まちづくり協議会は「宇仁小学校の早期改築」と「宇仁地区の再生事業」を目標として、平成20年2月に時の区長会やPTA等の諸団体により立ち上げられました。

以降、市長への陳情活動、加西市議会への請願活動、総務委員会への参画および意見陳述等を改築促進運動の一環として受け止め、協議会の会長を中心に、5年余りの間繰り返し繰り返し推進してまいりました。その結果新校舎は平成25年12月に完成しました。そして26年1月から新校舎へ63人の児童が移転しての授業が始まりました。

これで一つの課題は解決ですが、さてもう一つの賑わいをとりもどして人口増をどうすれば図れるのかの課題が残っていました。「これをどうする」。土地活用でネックになっている市街化調整区域の問題を何とかクリアすることでした。

そこで兵庫県をお願いして、平成23年に認可していただいた「特別住宅区域制度」「新規居住者制度」等の規制緩和制度を利用して承認された土地に、子息他の1/Uターンを促進することを進めました。制度導入による効果ははきめんで、児童数(令和5年12月現在の児童数67人)維持が現在まで続いているとみて差支えはないと思われます。このように宇仁地区の再生事業の目標の一つは達成しつつあります。しかしコロナ禍のため、ここ3年間は人口減になってきています。これに負けないよう皆様と一緒に創意工夫して取り組んで参りますので、引き続きまちづくり協議会へのご支持ご支援をよろしくお願い申し上げます。

第9分団が優勝!…KASAI 防災フェスティバル2023



11月5日(日)鵜野飛行場跡(旧姫路海軍航空隊)にある防災備蓄倉庫前にて「KASAI 防災フェスティバル2023」が開催されました。地域の安全および防災力を高めるため、陸上自衛隊(青野原駐屯地)の美味しいカレーの炊き出しや警察署、消防署等の協力のもと、市民の防災意識の

向上が図られました。

また、この防災フェスティバルの中では、指定されたコースにホースを延長し、3つの標的を放水で撃ち落とすまでのタイムを競う分団対抗消防レースが実施され、第9分団が優勝しました。(消防団OB)

ほっとトーク 3小学校区交流

若井町の小規模多機能型居宅介護事業所「どっこいしょ」の方が、デイサービスを受けておられる在田地区の方といっしょに、モーニングを食べにふれあい喫茶に来られました。宇仁地区の活動を話しているうちに、西在田や日吉の若いお母さんたちが、未就園児の存在に不安を感じていると聞き、宇仁で毎月1回ほっとトークをしているので、誘ってみてくださるよう依頼をしました。直ぐに返事があり、11月28日(火)のほっとトークに1歳児と6ヶ月児の親子2組が参加され、宇仁の1歳3ヶ月児の親子と合流することが出来ました。自己紹介をしながら、子育ての悩みや雑談、2人目3人目の手抜きの話をして大笑い。子ども同士でも何となく不思議そうに、また興味津々で、帰る頃には少しずつ慣れて椅子の周りで見つめあっていました。「オー！かわいい!!」



宇仁の未就園児の親子さーん、次回は1月23日(火)10時から12時開催の予定です。一緒に話しませんか？一緒に遊びましょう！お待ちしております。(ほっとトーク)

宇仁の朝市1,500回到達!!



宇仁の朝市は昨年12月末に開催回数1,500回に到達しました。2009年7月5日に根田女の湯にてオープンし、2009年11月からアオノゴルフのフロントでの販売、2010年7月にはばかば温泉で販売が始まりました。そして、芦屋市翠ヶ丘町(開催回数39回)、さくらまつり・コスモスまつり、北播磨フルサトフェスタ、家族の絆シンポジウム、加西サイサイまつり、北条の宿はくらんかい、ふるさとの祭典、社協まつりなどでも開催し、今日に至っています。これはひとえにこれまで支えていただきました近隣農家の皆さま、ご利用いただきました地域の皆さまのお陰であると感謝しています。

宇仁郷まちづくり協議会設立にともない、地域の活性化・地域おこしとして、地元で採れた新鮮な野菜を宇仁地区の方に安価に提供(地産地消)する目的でスタートしましたが、最近では地区外のお客さんの方が多くなってきているような状況です。朝市が楽しい地域の憩い・団らんのかたまりとして活用されることも歓迎していますので、皆様のご来店をお待ちしております。皆さんに喜んでもらえる朝市の継続を目指して頑張りますので、引き続きご支援とご協力ご利用をよろしくお祈りします。

(宇仁の朝市)

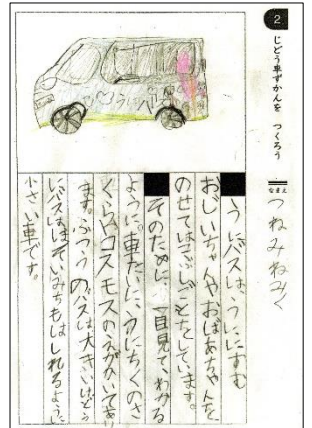


小学校一年生の作文を紹介します

宇仁小学校の一年生が自動車図鑑をつくる授業を受けました。各自が好きな車を選び、その車の特徴や工夫されていることを調べて書きました。その作品の中に宇仁ふれあいバスがありましたので紹介します。(宇仁ふれあいバス部会)



このバスは、こいつが
おじいちゃんやおばあちゃんを
のせてはじいちゃんをこつきます。
そのため、一目見れば、わかる
ように車たいて、つちくくのさ
くらやコスモスのえがかいてあり
ます。ふつうのバスはおきいけつ
にバスは、ほそいちもはれつに
小さい車です。



宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達②

宇仁郷まちづくり協議会

12. 市議会総務委員会に出席し宇仁小の早期建設着手を訴える(その1)

当時の議会作成の議事録をひもとくと、「請願第6号 宇仁小学校新校舎の早期建築について」の審議は、平成22年12月16日に、井上芳弘議員が紹介議員となり、宇仁小学校建設促進協議会の丸岡肇会長が請願者として招致され出席、議会側は吉田稔委員長、森田博美副委員長、井上智章委員、桜井光男委員、後藤千明委員が出席、執行者側からは、中川市長、東郷副市長、吉田教育長が陪席され質疑に応じられた。

(1) 請願者の趣旨説明—その1—

宇仁小学校建設促進協議会の丸岡会肇会長より、『これまで議会に平成8年10月29日、平成10年8月21日、平成16年8月13日の過去3回にわたり宇仁小を新用地に建設の請願をして採択されてきました。今回4回目の請願になりますが、新用地への建設の目途が立っておりません。

1点目の問題は、地域住民は議会が請願を採択すれば新用地に新校舎が建設されるとの理解でおりました。また平成16年の請願では「財政事情を鑑みて早期に着工・地域の活性化に努力」の2つの帯条件付きの採択となりました。宇仁校区では付帯条件に定めるため「宇仁郷まちづくり協議会」を平成20年2月23日に組織し地域の活性化に取り組んでいます。この6月に中川市長が提唱された「小学校11校体制を5校に集約する案」について「加西市学校あり方検討委員会」が、宇仁校区の保護者へのアンケートを取られた結果、安心・安全の実現は早期に新用地に建設が76.8%、どちらとも言えないが16.1%、新用地への建設は反対が7.1%でした。保護者の大多数が新用地への建設を望んでいることが明らかになりました。』 --- 次号に続く

* 宇仁郷通信 No170~173(令和5年9~12月)に関係記事を掲載しています。

昭和34年

・ 前校舎を新築

